

I 調査概要

1 調査の目的

観光を巡る地域間の競争が激しくなる昨今、訪日外国人観光客は、今後大きな伸びが期待されている。本調査では、外国人観光客の現状及びニーズを把握し、特性の分析を行い、効果的な観光振興施策の立案の基礎資料とすることを目的とする。

2 調査設計

- (1) 調査地域 神奈川県内の観光施設
- (2) 調査対象 県内を訪れている外国人観光客
- (3) 調査方法 主要観光地での聞き取りアンケート調査及び県内の宿泊施設への留置き調査
- (4) 調査時期 夏期調査 平成 21 年 8 月 15 日～平成 21 年 8 月 31 日
冬期調査 平成 22 年 1 月 11 日～平成 22 年 1 月 31 日
- (5) 調査内容 アンケート全 26 項目
 - ・観光客の属性（国籍、年齢層、性別、同伴者）
 - ・訪問目的、旅行形態、旅行費用、宿泊地、訪問地
 - ・神奈川県内の宿泊状況（宿泊費、食事代、土産代 など）
 - ・県内での交通手段、県内滞在における満足点、不満点

3 調査実施箇所

- (1) 横浜エリア、鎌倉・湘南エリア、箱根エリアの観光地で実施
県内を 3 つの地区に分け観光施設 10 箇所で行った。
- (2) 横浜エリア、鎌倉エリア、箱根エリア（湯河原含む）の宿泊施設で実施
県内 5 つの地区、計 50 箇所の宿泊施設で行った。

4 回収結果

エリア別	夏期有効回答票数	冬期有効回答票数	全体有効回答票数
横浜エリア	1, 459票	627票	2, 086票
鎌倉・湘南エリア	1, 926票	1, 469票	3, 395票
箱根（湯河原含む）エリア	1, 660票	3, 532票	5, 192票
合計	5, 045票	5, 628票	10, 673票

*表中のnは、回答者数のことであり、回答はすべてnを基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入した。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。

*クロス集計結果については、特徴的な結果がみられる設問の選択肢を抜粋している。